

平成31（2019）年度

下京区運営方針

～絆，魅力，伝統を未来につなぐまち 下京～



この町と、 これからも。
この町と、 いつまでも。

140th

下京区誕生140周年



平成31年4月 下京区役所

はじめに

京都市制に先がけて明治12(1879)年3月14日に誕生した下京区は、本年、140周年を迎え、5月1日から「令和」という新しい時代がスタートします。

京都の玄関口である下京区は、東西両本願寺、佛光寺などをはじめとする多くの社寺・門前町など、歴史的な町並みが残る一方、本年3月に開業した梅小路京都西駅周辺を中心とする京都駅西部エリアの新たな賑わいづくりや、京都市立芸術大学の移転を契機とする東部エリアの活性化、さらには京都経済100年の計を牽引する「京都経済センター」の完成など、11区の中でも特に活発な動きがある行政区です。

しかしながら、我々を取り巻く社会環境に目を向けると、少子化高齢化、人口減少に伴う担い手不足、猛威を振るう自然災害など、様々な課題が山積しています。これらは、日本に限らず、世界的な課題でもあり、国連はSDGs(持続可能な開発目標)を採択し、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現を目指しています。京都市はこのSDGsの達成に他都市に先駆けて取り組んでおり、全国市区調査において、先進度1位にも選ばれました。

下京区140周年記念事業においても、このSDGsの精神を踏まえ、「100年先の未来のためにはじめよう！自分ごとみんなごとのまちづくり」を共通テーマに、今を生きる我々が、地域が抱える課題を「自分ごと」「みんなごと」として捉え、区民の皆様とともに、下京区がもつ「地域力」を最大限に発揮し、10年先、100年先の未来を見据えた、持続可能で魅力あふれるまちづくりを推進してまいります。

引き続き、京都市政、下京区政への皆様の御支援、御協力をよろしくお願いいたします。



下京区長 安河内 博

目次

1	平成31年度の取組方針	2
2	総括表(重点取組一覧)	3
3	「下京区基本計画」に基づく着実なまちづくり	4
4	区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	10
5	より一層信頼される区役所づくりのために	11

【下京区運営方針とは】

下京区では、平成23年4月に区民の皆様とともに策定しました「下京区基本計画」を推進するため、年度ごとに重点的に取り組む施策・事業の方針・内容と区役所改革の取組などを掲げた「下京区運営方針」を策定し、区民の皆様にお知らせしています。

平成31年度 下京区運営方針

1 平成31年度の取組方針

平成31年度は、「レジリエント・シティ」及びSDGs（持続可能な開発目標）の理念を踏まえ、次の5つの方針の下、局と連携し、区民や事業者等の皆様とともに、下京区がもつ「地域力」を最大限に発揮し、10年先、100年先の未来を見据えた、持続可能で魅力あふれるまちづくりを推進します。

1 下京ならではの「地域力」を生かしたまちづくりの促進

あらゆる世代の区民が、「下京区に住んでよかった」と実感し、「住み続けたい」「次世代にも住んでほしい」と思えるよう、区民や地域が主体の「子育て支援・健康長寿・安心安全」のまちづくりを促進します。

2 京都駅西部エリアの賑わいづくりの推進

市中央市場の整備が進む中、JR「梅小路京都西」駅が31年3月16日に開業し、ホテルや飲食店などからなる複合施設の開業が32年度中に予定されるなどますます賑わいを増す京都駅西部エリア。エリア内の商店街や事業者等との連携の下、区民生活との調和を図りながら、京都の新たな賑わいを創出するとともに、エリア全体への回遊性の向上を図ります。

3 京都駅東部エリアの文化を基軸としたまちづくりの推進

京都市立芸術大学の崇仁地域への移転を控え、崇仁地域はもとより区民総ぐるみで移転歓迎の機運を醸成するとともに、京都駅東南部・西部のエリアマネジメントの取組とも連動させ、「文化芸術」を基軸とした地域の活性化を推進します。

4 140周年を契機とする100年先を見据えたまちづくりの創出

140周年を迎える記念すべき年を契機として、区民一人ひとりが学区や地域、社会の課題に向き合い、10年先、100年先の未来を見据えた「自分ごと」「みんなごとのまちづくり」を進められるよう支援します。

5 区役所職員プロジェクトチームの設置による区役所改革

区役所庁内プロジェクトチームとして、「伝える力」「聴く力」プロジェクトチームと、「訪れたくなる庁舎プロジェクトチーム」を設置し、市民サービスの向上はもとより、職員の知恵を結集して、区民に親しまれる区役所づくりを推進します。

2 総括表（重点取組一覧）

テーマ	基本方針	重点取組名	目標	所属等
テーマⅠ 人と人との絆をつなぐ(人をつなぐ)				
	基本方針 I-① 健やかな暮らしを地域力で育もう			
	1	地域ぐるみの子育て支援	・企業や商店街、大学、寺社、芸術文化団体等で構成するプロジェクト会議の創設 ・下京赤ちゃんねっと事業の充実 など	保健福祉センター (子どもはぐくみ室・健康長寿推進課)
	2	「健康長寿のまち・下京」の推進 ～地域共生社会を目指して～	・「笑顔」や「食文化」をテーマとした健康づくりへの機運醸成や啓発事業の実施など	保健福祉センター (健康長寿推進課)
	基本方針 I-② 近所のお付き合いで安心を支えよう／I-③ 地域力を生かして安全を高めよう			
	3	区民ぐるみの安心安全なまちづくり	・「下京防犯の日(毎月14日)」を中心とした安心安全の啓発活動 ・西日本豪雨の教訓を基にした、「下京区水災害対応マニュアル」を作成・配布など	地域力推進室
	4	不良な生活環境の解消	・地域住民や福祉関係機関等との連携による、不良な生活環境の解消に向けた継続的な支援	地域力推進室、 保健福祉センター
テーマⅡ まちの魅力や資源をつなぐ(空間をつなぐ)				
	基本方針 II-① まちの活力を高めよう／II-② まちの個性を生かし魅力を高めよう			
	5	京都駅西部エリアの賑わいづくりの推進	・商店街や事業者等との連携による、新たな賑わいの創出と、エリア全体への回遊性の向上	地域力推進室
	6	京都駅東部エリアの文化を基軸としたまちづくり	・京都市立芸術大学の移転歓迎の機運醸成と文化芸術による地域の活性化	地域力推進室
	7	子どもたちに対する文化財普及啓発事業	・子どもたちに文化財に接し、理解を深める機会を提供	地域力推進室
	8	まちづくり委員会の設立支援	・学区におけるまちづくり委員会の設立	地域力推進室、 保健福祉センター
	9	優良な民泊の普及支援	・訪日外国人啓発マナー向上啓発活動の実施や優良な事業者の情報提供	地域力推進室
	10	「下京・京都駅前サマーフェスタ2019」の支援	・下京区140周年記念事業との連携による更なる賑わいづくりの創出	地域力推進室
	11	学校跡地活用の促進	・地域における有効活用に向けた協議が円滑に進むよう支援	地域力推進室
テーマⅢ 歴史と伝統を未来へつなぐ(時をつなぐ)				
	基本方針 III-② 担い手の育ちを支えよう			
	12	下京区140周年記念事業の実施	・灯りのイベントの実施 ・市民参加型のモニュメント制作や記念式典・祝賀会の開催、記念誌の制作 ・事業趣旨に賛同した区民や地域の各種団体、企業による多彩な協賛事業を創出	地域力推進室
	13	第3期下京区基本計画の策定に向けた検討	・第3期基本計画の素案検討	地域力推進室
	14	「区民が主役のまちづくりサポート事業」の実施	・下京区140周年事業の7つの分野別テーマに該当する活動への支援	地域力推進室
	15	「下京アフターアワーズ」の実施	・年2回の実施	地域力推進室

3 「下京区基本計画」に基づく着実なまちづくり

テーマ1 人と人との絆をつなぐ（人をつなぐ）

基本方針 I-①

健やかな暮らしを地域力で育もう

重点取組1 地域ぐるみの子育て支援

子どもを地域や社会の宝として大切に育む、京都ならではの「はぐくみ文化」を伝承・創造するため、子どもの総合支援窓口の機能を活かして、地域ぐるみの子育て支援の環境づくりを推進します。

<31年度>

○下京みらい数珠つなぎプロジェクト **新規**

地域の各種団体や企業、商店街、大学、寺社、芸術文化団体等、様々な主体で構成する「下京みらい数珠つなぎプロジェクト会議」を創設し、子どもの健全育成に関する情報や課題等を共有することで、子どもたちを地域の宝として大切にはぐくむ、京都ならではの「はぐくみ文化」を区民ぐるみで推進します。

○「下京赤ちゃんねっと事業」の充実 **充実**

地域の主任児童委員等が妊婦や子どもが産まれた世帯に、地域の子育て支援情報をお届けする「下京赤ちゃんねっと事業」をお申込みの方に「下京赤ちゃんねっとふろしき」をお贈りする取組を新たに実施し、より多くの方に同事業を知っていただき、利用いただくことで、早期に地域とのつながりを深め、子育て家庭の孤立化や児童虐待などの未然防止につなげます。

重点取組2 「健康長寿のまち・下京」の推進～地域共生社会を目指して～

赤ちゃんから高齢者まで、障害のある人もない人も、すべての区民一人ひとりが地域で自立して安心して生活できる「地域共生社会」の実現を目指します。

健康づくりをはじめ、「笑顔」を基盤に「顔のみえる」まちづくりに主体的に取り組む機運を醸成します。

<31年度>

○啓発・発信プロジェクト「スマイルUP下京」 **充実**

「笑顔」をテーマとした講演会等の開催により、科学的根拠に基づく「笑顔」の健康効果（ストレス軽減、認知症予防、免疫力向上等）を啓発し、区民の健康づくりを推進します。

○食文化から考えるがん予防などの啓発事業 **充実**

「食文化と健康」をテーマとした講演会等の開催により、健康的でバランスのとれた食習慣について学ぶ機会を提供し、がんや生活習慣病の予防を推進します。

○下京こころのふれあいネットワーク事業の推進

こころの病や様々な障害について普及啓発を行い、理解促進を図ります。

基本方針Ⅰ-②	近所のお付き合いで安心を支えよう
基本方針Ⅰ-③	地域力を生かして安全を高めよう



重点取組3 区民ぐるみの安心安全なまちづくり

各学区の自主的な安心・安全に関するまちづくり活動や防災訓練への支援を行うとともに、地域の各種団体、小中学校、事業者、行政により構成する「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 下京区推進協議会」が策定した「下京区運動プログラム（具体的な取組の指針）」（平成28～32年）に基づき、自転車盗難や万引きの防止に努めるほか、我が国で国際的な会議や大会が開催されることを受け、京都駅周辺や四条通周辺などにおける危機管理対策の強化を図るための取組を推進します。あわせて、毎月14日の下京区防犯の日には「京都駅前客引き防止啓発」に取り組むなど、安心安全への機運の向上を図ります。

また、水災害対策の課題点等を踏まえた防災マニュアルを作成・周知し、住民の防災力の更なる向上を図ることで、災害に負けないレジリエンスなまちづくりを推進します。

<31年度> 下京区水災害対応マニュアルの作成 新規

- ・災害に対する適応力を高めるため、30年7月の西日本豪雨の教訓を基にした、「下京区水災害対応マニュアル」を作成・配布し、地域の自主的な安心・安全に関するまちづくり活動を支援します。

※下京区水災害対応マニュアル

下京区における正しい避難行動、指定緊急避難場所の運営、地域・施設管理者・区役所の役割などを記載予定



重点取組4 不良な生活環境の解消

建築物等における物の堆積や放置、多数の動物飼育等により、周囲を含む生活環境に悪影響を与える状態などの不良な生活環境の解消のため、「要支援者」に寄り添った支援を行うことを基本として、地域住民や福祉関係機関、「地域あんしん支援員」等との連携の下、継続的な支援を行い、安心かつ安全で快適な生活環境の確保を推進します。

テーマII まちの魅力や資源をつなぐ（空間をつなぐ）

基本方針Ⅱ-①	まちの活力を高めよう
基本方針Ⅰ-②	まちの個性を生かし魅力を高めよう

重点取組5 京都駅西部エリアの賑わいづくりの推進



京都水族館や京都鉄道博物館による年間を通しての賑わいに加え、「梅小路京都西」駅が開業し、今後、新駅に近接した公園内の七条入口広場に屋外型スポーツ施設、平成32年度中にはホテルや飲食店による複合施設が整備されるなど、ますます賑わいを増す京都駅西部エリアにおいて、エリア内の商店街や事業者等との連携の下、区民生活との調和を図りながら、京都の新たな賑わいを創出するとともに、エリア全体への回遊性の向上を図るなど、魅力的なまちづくりを推進します。

<31年度> 「梅小路京都西」駅開業を契機とした地域の活性化 **充実**

- ・「京都・梅小路みんながつながるプロジェクト」や「京都駅西部エリアまちづくり協議会」と連携し、地域の魅力発信や賑わい創出を支援
- ・複合施設の事業者と連携し、エリアの活性化に向けた取組の具体化を支援

重点取組6 京都駅東部エリアの文化を基軸としたまちづくり



平成35年度の京都市立芸術大学の崇仁地域への移転の機運を高めるため、地域が進めるエリアマネジメントが円滑に進むよう支援します。

<31年度> 京都市立芸術大学移転の機運醸成と文化芸術による地域の活性化 **充実**

- ・市民しんぶん区版「下京のひびき」へのコラムの連載、区役所エントランスにおける芸大ブースの設置など、移転歓迎の機運を醸成
- ・京都市立芸術大学が実施する移転整備プレ事業における地域連携や広報の強化
- ・「灯籠ながし」や「高瀬川音楽祭」など、文化芸術と地域資源を融合したエリアの活性化を支援
- ・市営住宅を活用した若手芸術家支援事業の対象者として選定された若手芸術家の地域での活動や地域住民との交流の支援

重点取組7 子どもたちに対する文化財普及啓発事業 **新規**



未来にわたり、文化財を大切に保護していくために、子どもたちに文化財に接し、理解を深める機会を提供します。

具体的には、(公財)市埋蔵文化財研究所と連携し、子どもたちが地域の歴史や文化財の魅力に触れる機会を提供し、地域の歴史への理解や文化遺産を大切にする意識の向上を図ります。



重点取組 8 まちづくり委員会の設立支援

防災まちづくりに取り組んでいる有隣学区や菊浜学区において、防災まちづくり計画の策定や防災まちづくりマップの作成支援など、まちづくり委員会の活動に対する支援を継続して行います。

また、平成30年度から開始した、開智学区におけるまちづくり推進委員会の設立に向けて、学区自治連合会との協議を深め、支援します。



重点取組 9 優良な民泊の普及支援

行政区で最も旅館業法に基づく許可施設数が多い下京区（※）において、平成29年度に引き続き、地域住民、下京警察署、下京消防署、市保健福祉局とともに、「訪日外国人マナー向上啓発活動（民泊パトロール）」を実施するとともに、宿泊施設の運営に関するルールについて地域との協定書を締結している事例や、地域の一員として地域活動に貢献している事例など、地域と調和した運営を行う事業者の事例についても情報発信を行い、魅力的な民泊が普及するよう支援します。

※旅館業法に基づく許可施設件数 763件（31年1月末現在）



重点取組 10 「下京・京都駅前サマーフェスタ 2019」の支援

企業や歴史資源の集積する下京区ならではの取組として、京都駅ビル開発株式会社、西本願寺、東本願寺、地域と連携し、下京区の夏の風物詩として、まちの賑わいづくりを進めます。

平成31年度は、下京区140周年記念事業との連携の下、更なる賑わいづくりの創出を検討し、回遊性の向上と連携エリアの拡大を目指します。



重点取組 11 学校跡地活用の促進

元小学校の跡地活用について、資産活用推進室と連携の下、地域における有効活用に向けた協議が円滑に進むよう支援します。

テーマⅢ 歴史と伝統を未来へつなぐ（時をつなぐ）

基本方針Ⅲ-②

担い手の育ちを支えよう

重点取組 12 下京区140周年記念事業の実施



下京区誕生140周年を契機に、区民一人ひとりが学区や地域、社会の課題に向き合い、10年先、100年先の未来のために、「自分ごと」「みんなごと」のまちづくりを進め、区民や事業者等の皆様とともに多彩な取組を創出します。

<31年度>

- ・下京区の新たな風物詩として、使用済みとなった和ろうそくを活用するなど、地球環境に配慮した灯りのイベントを地域ぐるみで開催
- ・市民参加型のモニュメントの制作、記念式典・祝賀会の開催や、記念誌を制作
- ・事業趣旨に賛同した区民や地域の各種、企業による多彩な協賛事業を創出

重点取組 13 第3期下京区基本計画の策定に向けた検討 **新規**



区民が主役の「第2期下京区基本計画（2011～2020）」を推進し、様々な分野でまちづくりに関わる方々から、幅広く意見をいただき、基本計画の進捗を図るとともに、区政に反映するため、「下京区民まちづくり会議」を開催しています。

平成31年度は、30年度に実施した区民アンケート結果等を踏まえ、第3期基本計画の素案を検討します。

重点取組 14 「区民が主役のまちづくりサポート事業」の実施



下京区をより暮らしやすく、安心安全で、魅力的なまちにすることを目的に、区民の皆さんの主体的なまちづくり活動を支援します。

平成31年度は、下京区140周年の7つの分野別テーマに該当する事業を補助対象として、「自分ごと」「みんなごと」のまちづくりを一層推進します。

【7つの分野別テーマ】

- ①次代を担う子ども・若者をすこやかに
- ②健康長寿のまちづくり
- ③自治の精神を未来に継承
- ④持続可能でレジリエントなまちづくり
- ⑤文化を基軸とした創造的なまちづくり
- ⑥京都の元気を牽引するまちづくり
- ⑦140歳を迎えた下京の魅力アップ





重点取組 15 「下京アフターアワーズ」の実施

参加者が、まちづくりや起業へのアイデアを得て、下京区で活躍したいと願っていただくきっかけとなるよう、地域の魅力を活かして活動するゲストによるトークセッションやゲストと参加者、参加者同士の交流会を実施します。

4 区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算

本市では、平成24年度に、京都ならではの地域力を活かした協働型のまちづくりを推進するため、「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」を創設し、区民が主役のまちづくりを推進しています。

31年度の下京区役所の予算は次表のとおりです。

※「2「下京区基本計画」に基づく着実なまちづくり」の事業は、この表以外の予算も含んでいます。

種類	取組名 ※（ ）内は重点取組名	予算額
区民提案型事業	下京区安心安全ネット継続応援事業 (区民ぐるみの安心安全なまちづくり)	60万円
	下京区民が主役のまちづくりサポート事業	769万5千円
共汗型事業	下京みらい数珠つなぎプロジェクト, 下京のはぐくみ文化発信事業 (地域ぐるみの子育て支援)	120万円
	健康長寿のまち・下京の推進	146万5千円
	安心安全のまちづくりの推進 (区民ぐるみの安心安全なまちづくり)	33万5千円
	子どもたちに対する文化財普及啓発事業	30万円
	地域コミュニティ活性化事業 (まちづくり委員会の設立支援) (優良な民泊の普及支援)	73万円
	下京・京都駅前サマーフェスタ	50万円
	下京区140周年記念事業	300万円
	下京区民まちづくり会議 (第3期下京区基本計画の策定に向けた検討)	71万1千円
	下京アフターアワーズ	50万円
	下京区民ふれあい事業	350万円
合計		2,053万6千円

5 より一層信頼される区役所づくりのために

(1) コンプライアンスの徹底

職員に、より一層、公務員倫理及び法令遵守の周知徹底を図るとともに、組織・制度の改正についても、窓口などで十分に説明を行い、区民の皆さんの理解を得られるよう努めてまいります。

(2) 市民サービスの向上

市民の目線に立ったきめ細かな対応を心掛け、課題とされる点について改善策を図り実施することで、更なるサービスの向上に取り組みます。

常に分かりやすい庁舎案内表示に努めるとともに、職員の「伝える力」「聴く力」を磨き、情報を迅速に分かりやすく伝えます。

<31年度> 「婚姻メモリアルポスター」の作成

平成26年2月22日(にこにこ夫婦)から、婚姻届を提出された方を対象に、お届けを持ったお二人を撮影し、その写真を台紙に差し込んだ「婚姻メモリアル証」をお贈りし、明るい未来へ踏み出すお二人を応援しています。

下京区140周年を記念し、写真を撮影する際の背景として、下京区の有名スポットを取り上げたオリジナルポスターを新たに作成します。

(3) 庁内プロジェクトチームの設置

若手職員を中心として、情報発信強化に取り組む「「伝える力」「聴く力」と、区役所総合庁舎に何度でも来たくなるような「訪れたくなる庁舎づくり」に取り組む2つの庁内プロジェクトチームを立ち上げ、区役所職員の意識改革と自己研さんに努めるとともに、下京区140周年に参画し、若い力を結集して、事業を盛り上げます。